



「世界ではじめてのクリスマス！」(要旨)
ルカの福音書 2章8節~14節 説教者 原田憲夫
今週の聖句 ルカ 2・11

♪クリスマスの讃美歌が心に響きます。そして読まれた聖書・・・クリスマスの世界がいつぱんに開かれました！ ようこそ！「世界ではじめてのクリスマス」の世界へ！

「救い主誕生」は、およそ 2000 年前、当時、ローマが支配する世界-ローマ皇帝をみなが称賛した時代でした。

しかしその誕生地はローマではありませんでした。イスラエル・ユダヤの聖都エルサレムから南に約 8km の小さな農村ベツレヘムの町で「救い主」は誕生したのです。

【1】「救い主誕生」の出来事-真っ先に羊飼いたちに知らされた！

その日、ベツレヘムの野原で野宿し、羊の群れの夜番をしていた羊飼いたちがいました。その真っ暗な野原一面をまばゆい光が照らしました。この出来事に恐れた羊飼いたちに、主の使いが現れ、こう告げたのです。

「・・・今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。あなたがたは、布にくるまって飼葉桶に寝ているみどりごを見つけます。…」(10~12)
当時の羊飼いは社会の底辺で貧しく暮らしていました。けれどもそんな羊飼いたちに、この「大きな喜びの知らせ」が真っ先に伝えられたのです。

さらに天の軍勢が現れ、力強く神を賛美する声を野原一杯に響かせたではありませんか。

「いと高き所で、栄光が神に…地の上で、平和がみこころにかなう人々にあるように。」(14)

【2】「救い主」-布にくるまって飼葉桶に寝ているみどりご！

羊飼いたちは急いでベツレヘムへ行き、「飼葉桶の救い主」にお会いしました！

が、不思議です。多くの方は、絢爛豪華な世界の中に「救い主」を捜します。

しかし全人類を救う「救い主」は、

(1) 「みどりご/赤子」として来られた。

→「みどりご/赤子」の小ささ、弱さこそ、ほほえみにあふれ、いのちの美しさがあふれる「神の恵み」そのもの-剣で

はなく愛による平和そのものです。

(2) 布にくるまれ「飼葉桶」に寝かされていた。

→悪臭の漂う「家畜小屋」の「飼葉桶」とは、罪に傷つき、汚れたこの世界、私たち人間の心そのものです。

▶「救い主」は、聖く栄光に輝く永遠の世界からこの暗く罪と汚れに満ちたこの世界に、私たちと同じ人間の姿をとって来られたのです。

私たち人間のすべての罪を引き受け、十字架の上でご自分のいのちをもって私たちのすべて罪を贖うために！

【勧め】

「救い主」にお会いした羊飼いたちは大きな喜びに包まれ、彼らの人生が一変しました。自分たちを蔑んでいた町の人々に「救い主誕生」の「大きな喜び」を伝え、神を賛美しながら帰っていったのです！
これが世界ではじめてのクリスマス！

あの日の「大きな喜びの知らせ」が、今では世界中の人々に伝えられています。

その中の一人は、心に傷を抱えるあなたであり、愛する人を失い、涙に暮れているあなたです。・・・将来の希望を失くし、心に闇を抱えているあなたであり、孤独で目的地が分らず漂流しているあなたです。

▷けれども今日-あなたもあの日の羊飼いたちのように「世界ではじめてのクリスマス」に招かれているのです！

あなたも羊飼いたちのように、「飼葉桶のみどりご」を訪ねてください。そして「十字架のキリスト」を訪ねてください。

そのとき、あなたの心の中に救い主キリストが宿り、尽きない大きな喜びがあなたの心の中からわきあがるでしょう！

メリー・クリスマス！

* 祈り

* 賛美

